



2011 ミニディスクロージャー誌

第103期 営業のご報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

鹿児島銀行  
KAGOSHIMA BANK

## \* ごあいさつ

平素は格別のお引き立てを賜わり誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

当期のわが国経済は、当初増加基調にあった輸出や生産活動が、円高の進行などで緩やかに減少し、その後持ち直しの動きが見られたものの、東日本大震災の影響を受けました。一方、地域経済においては、生産活動や個人消費が弱含み、雇用情勢、観光関連も低調に推移するなど全体として厳しい状態が続きました。

このような経営環境のなかで、当期も本報告書記載のと通りの業績をおさめることができました。これもひとえに皆様方のあたたかいご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

銀行をとりまく経営環境は、今後も厳しさを増していくと思われませんが、来期はいよいよ「第4次経営戦略計画」の仕上げの年となります。今後とも皆様方のご期待にお応えできるよう、創意と努力を尽くして業績の向上に努める所存でございます。何とぞ倍旧のご支援とご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

平成23年6月

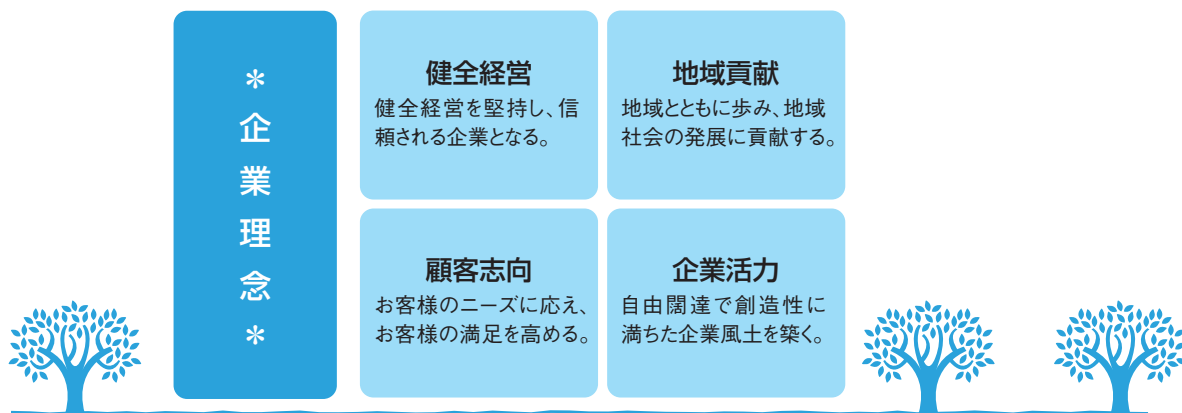


取締役頭取 上村基宏

## C O N T E N T S

ごあいさつ	1
企業理念・金融経済環境	2
業績ハイライト	3
健全な銀行として	5
経営計画	7
地域密着型金融の推進について	8
企業活動を通じた“かぎん”のすがた	12
金融円滑化への取組みについて	13
CSR(企業の社会的責任)への取組みについて	15
Topics	17
ATM営業時間のご案内	19
連結財務諸表	20
単体財務諸表	22
当行の概要・役員	24
株式の状況	25
株式のご案内	26

## \* “地銀らしい地銀”を目指して



## \* 金融経済環境 (平成22年4月1日～23年3月31日)

当期のわが国経済は、輸出や生産活動は当初海外経済の改善により増加基調にありましたが、円高の進行などで緩やかに減少し、その後持ち直しの動きがみられるようになりました。この間、雇用・所得環境は依然として厳しさが続くなか、持ち直しの動きがみられました。個人消費はエコカー補助金制度などの経済対策効果で持ち直してきたものの、制度終了後は反動減で一部に弱い動きがみられました。投資面では住宅投資は下げ止まる一方、公共投資は低調に推移しました。このような状況のもと、日経平均株価は円高の進行などで前半は弱含み、景気の持ち直し期待から後半は一万円台を回復しましたが、東日本大震災後の急落で総じて低調な推移となりました。対米ドル円レートも円高基調で推移するなか、大震災後に史上最高値を更新しました。また、消費者物価は緩やかな下落が続きました。

地元経済におきましては、当初生産活動や個人消費の一部に明るい動きがみられたものの、その後弱含み、雇用情勢、観光関連も低調に推移するなど、全体として厳しい状態が続きました。

生産面では、電子部品関連は回復した後、一部に生産調整の動きもみられ、食料品関連では焼酎の生産・

出荷の前年割れが続きました。

畜産関連では、豚肉、ブロイラー、鶏卵相場は持ち直しの動きがみられましたが、肉用牛(和牛)の枝肉相場は低調に推移しました。子牛価格は口蹄疫の影響により5月から延期された競り市が7月に再開され、前年を上回りました。

建設関連では、新設住宅着工戸数は前年を上回ったものの、公共工事、民間建設工事ともに低調に推移しました。

個人消費関連では、家電エコポイント等の政策効果が消費を下支えしましたが、大型小売店(百貨店・スーパー)販売は前年を下回りました。新車(乗用車・軽自動車)販売は経済対策効果により持ち直したものの、エコカー補助金制度終了後は前年を下回りました。

観光関連では、口蹄疫や新燃岳噴火の影響による予約のキャンセル、団体ツアー客の減少等により、主要ホテルの宿泊客数、主要観光施設の利用・入場者数ともに低調に推移しました。一方、地域の交流人口増加への寄与が期待される九州新幹線鹿児島ルートが、23年3月に全線開業しました。